



学費サポートの 制度について



学費納入
の流れと
分納



奨学金制度
(日本学生支援
機構奨学金)



国の修学
支援制度

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 大阪府認可



大阪ITテクノロジー専門学校

Index

学費納入の流れ

P.1

学費についてのよくある質問

P.2

日本学生支援機構奨学金の申し込みから採用まで

P.3~5

高等教育の修学支援制度について

P.6~8

国の教育ローンについて

P.9

学費納入の流れ

給付奨学金を申し込まれている場合

給付奨学金を申し込まれている方で学費の分納を希望される場合

学費の分納を希望される場合

一括でお振込み頂く場合

大阪ハイテクノロジー専門学校より

合格通知と共に学費納入振込書兼通知書を郵送します。

合格者

納入期限までに、金融機関からお振込み下さい。

学費納入期限

合格後、概ね2週間程度【原則一括納入】

可能な限り、一括納入でお願いいたします。難しい場合はご相談をお受けいたします。

日本学生支援機構給付奨学金予約採用申込者

※在籍している高等学校で手続きをお願いします

- ① 給付奨学金採用者は**修学支援制度の対象**となります。
- ② 給付奨学金をお申込みの方は、**一時金として10万円**をご納入頂きます。
- ③ 11月頃 日本学生支援機構より**採用の可否及び区分の決定が通知**されます。
- ④ 合格通知に同封の**授業料減免申請書**および高校より受け取った**決定通知書**をハイテクにご提出ください。
- ⑤ 決定した区分に応じて、**一時金を差し引いた金額**をご請求します。

ご一括での納入が難しい場合

分納手続

ご一括での納入が難しい場合は、分納の手続きをとることができます。**原則、2分割**です。なお、**最終支払期限は8月末日**です。

**納入
期限**

前期分

●合格時、合格後2週間程度
①可能であれば、前期分も合わせてご納入ください
②一時金として一部をご納入の上、残金(前期分)を3月19日までに納入ください。

後期分

○8月末日まで

※経済的事情により、**分割回数及び納入時期**のご相談が必要な場合はお申し出ください。分割での納入を希望される場合は**必ず学校までご連絡**ください。 TEL：0120-33-8119

2月下旬(納入期日3月20日前後)

諸費用のご請求

◆ご注意◆ 分納はできません

4月

ご入学

学費についてのよくある質問

Q：学費納入の最終期限はいつでしょうか？

A：原則一括納入でお願いしております。
教育ローンなどをご利用のうえ、一括でご納入ください。
一括納入が難しい場合は前期・後期の分割で、最終後期の納入は8月末迄に
お願いいたします。

Q：学費の分割回数はどれくらいですか？

A：原則、2分割です。
ご家庭の経済状況によっては、それ以上の分割をご案内することも可能ですが、
納入計画をお考えのうえ、必ず学校までご相談ください。

Q：諸費用の請求はどれくらいの時期にきますか？

A：例年2月下旬頃に教科書代や白衣等の諸費用の納入をお願いしております。
こちらは分割制度は適用できません。（納入期日は入学前3月20日前後）

Q：進級時の学費請求はいつ頃ですか？

A：進級確定後、学費及び諸費用をまとめてご請求致します。
例年の実績では、3月上旬頃にご請求します。（納入期日は3月20日前後）

Q：国の修学支援制度の対象校ですか？

A：本校は国の修学支援制度の対象校です。
要件を満たしていれば、授業料等の減免や返済不要の給付奨学金の支援を受けることが
できます。経済的な理由があっても、より学びやすくなりました。
要件に該当する世帯の方は、高校にて給付奨学金の申込を行ってください。

Q：日本学生支援機構の奨学金を申し込んで採用された場合、奨学金だけで
学費を支払うことはできますか？

A：日本学生支援機構の奨学金が採用された場合、奨学金を受け取ることができるのは
入学後になります。そのため、1年次学費に全額を充当することはできません。

日本学生支援機構奨学金の申込から採用まで

予約採用制度（進学前から申請）

入学前

高校で**予約採用**を申し込む

4～7月頃
※高校により申込時期が異なります。
詳細については在籍している高校で
ご相談ください。



採用・不採用が決定

10～12月頃



入学後【採用決定通知】を担任の先生に提出

入学後すぐ



進学先データ入力（進学届提出）に必要な
ID・パスワード・下書き準備用紙を受け取る



オリエンテーション時

スカラネットパーソナルから日本学生支援機構に
大阪ハイテクに進学したことを入力（提出）する



4月上旬頃

不備がなければ5月に初回振り込みがされる



返還誓約書の完成・提出

6月頃

在学採用制度

（入学後に申請）

ハイテク（本校）で
在学採用を申し込む

4・5月頃
※高校で申込をしていない方・
既卒の方が対象。



不備がなければ6月に
初回振り込みがされる
（※希望により、4月からの3か月
分が振り込まれます）



返還誓約書の完成・提出

入学後



インターネットで「日本学生支援機構 早わかりガイド」と
検索してみてください。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/oyaku/teishutsu/_icsFiles/afieldfile/2020/04/02/hayawakari.pdf

貸与奨学金・給付奨学金について詳しく書かれています。

わからないことがあれば、ハイテクまでお問合せください。

*採用は日本学生支援機構の審査によって決まります。収入金額等の条件があり、希望者全員が採用となるわけではありません。また、**予約採用**で採用された場合、奨学金の振込は入学後になります。なお、**在学採用**として、入学後4月に申請をすることも可能です。実施する説明会にご参加ください。申し込みに必要な資料を配布します。

日本学生支援機構奨学金の貸与金額について

★奨学金には2つの種類があります★

貸与奨学金（返還必要）と給付奨学金（原則返還不要）

○貸与奨学金○

■第一種奨学金(無利子貸与)

自宅通学	自宅外通学
53,000円	60,000円
40,000円	50,000円
30,000円	40,000円
20,000円	30,000円
	20,000円

■第二種奨学金(有利子貸与)

20,000円～120,000円までの
1万円単位の金額の中から選択

○給付奨学金○

学校種別	区分	私立	
		自宅通学	自宅外通学
大学	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
短期大学 専修学校	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
(専門課程)	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円

予約採用(高校で奨学金の申込・入学前に採用結果がわかる)について



奨学金申込をお考えの方は、高校からの奨学金についての連絡を逃さないようにしてください。

高校で資料配布、説明会開催等の連絡があります

* 詳細は在籍している高校の奨学金担当の先生にご相談ください。

- ◎高校で申込を完了させ採用された場合は、ハイテク入学後の**手続きが簡単**です。
- ◎採用されると「**奨学生採用候補者決定通知**」が交付されます。
なくさないようにしてください。入学後、記載されている情報が必要になります。
- ◎その内容を基に日本学生支援機構へ大阪ハイテクノロジー専門学校に進学したことを報告するだけです。



高校で奨学金の申し込みが完了しているとメリットがたくさんあります！

- ・書類提出や入力期日は、入学後や進級後に奨学金を申し込むよりも時間的余裕が持てます。
- ・奨学金の初回振込も、入学後に申し込むより早く行われます。
- ・奨学金を申し込む予定の方は、高校で予約採用に申し込みをするのがおすすめです。
- ・学費納入に関しても計画が立てやすくなります。
- ・給付奨学金に採用された方は、修学支援制度の対象です。

不安解消 Q&A

Q1.手続きや進学届の入力が難しそうで心配です。

A1.入学後、入力についての説明書配布や、説明会を学内で実施します。

質問等があれば、事務スタッフを中心に対応いたします。

Q2.貸与奨学金、返還できるか心配です。

A2.返還は貸与終了後7か月後に始まります。

返還が困難になった場合の救済制度（減額返還・返還期限猶予・在学猶予）もあります。返還する総額は変更されませんが、月々の返済計画を見直すことが可能です。

Q3.奨学金の申込を行う際に、準備しておくことはありますか？

A3.奨学金の申込には、本人と父母（父母がいない場合は、代わって生計を維持している者）のマイナンバーの提出が必要になります。マイナンバーカードを持っていない人は通知カードがあるか確認しておきましょう。

★予約採用をしていなくても安心してください!!!

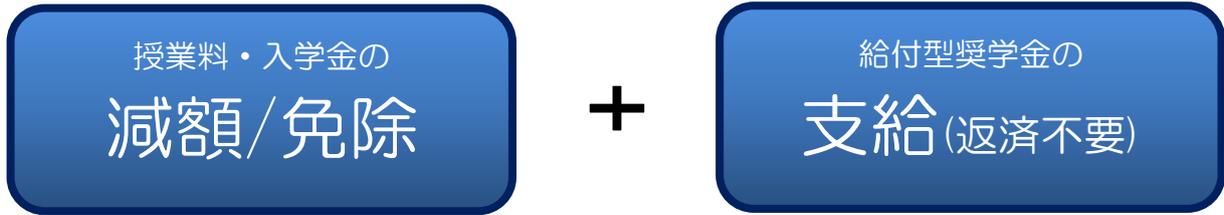
予約採用ができていない方もハイテク入学後に申し込む在学採用の制度があります。

高等教育の修学支援制度について

進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、専門学校に進学できるチャンスを確認できるよう、令和2年4月から実施された国の修学支援新制度です。

大阪ハイテクノロジー専門学校は、『高等教育の修学支援制度』の対象校です。世帯収入の要件を満たして、学ぶ意欲が認められる場合、授業料・入学金（新入生のみ）をサポートしてもらうことができます。

○支援の内容○



授業料等減免の制度及び給付奨学金制度の対象者の要件は同じです。給付奨学金の対象者となる方は授業料減免の対象になります。



★日本学生支援機構の給付奨学金への申し込みが必要です★

★世帯収入や学業成績などの要件を満たす必要があります★

★世帯収入に応じた3段階(第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ区分)の基準で支援額が決まります★

○年収の目安○

年収の目安

住民税非課税世帯 ▶ 約 **270** 万円未満
 <第Ⅰ区分>

それに準ずる世帯 ▶ 約 **270~380** 万円
 <第Ⅱ・Ⅲ区分>
 ※基準を満たす世帯年収は家族構成により異なります

【参考資料（世帯収入基準の目安）】

世帯人数	想定する世帯構成	★が給与所得者の世帯 (年間の収入金額：万円)			★が給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額：万円)		
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
2人	本人、母(★)	229	332	402	131	197	251
3人	本人、母(★)、中学生	289	391	457	172	241	295
4人	本人、親①(★)、親②(無収入)、高校生	295	395	461	186	256	305
5人	本人、親①(★)、親②(パート)、高校生、中学生	親①：321 親②：100	親①：395 親②：100	親①：461 親②：100	親①：207 親②：100	親①：256 親②：100	親①：309 親②：100

○進学資金シミュレーター○

国の新しい給付奨学金制度の対象になるかどうか、また、給付奨学金の支援区分における給付月額を大まかに知ることができます。世帯の状況など、必要事項を入力することで、進学のための資金計画を立てる際のシミュレーションができます。

進学資金シミュレータ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>




○支援の金額○

住民税非課税世帯の場合 ※（ ）内の数字は夜間部
<第Ⅰ区分>

授業料・入学金の減免
 【上限額/年額】

授業料	59万円 (39万円)
入学金	16万円 (10万円)

+

給付奨学金
 【年額】

自宅通学	約46万円
自宅外通学	約91万円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯<Ⅱ・Ⅲ区分>の学生は次のページでチェック!!

授業料・入学金の減免額及び給付奨学金の支援総額の例

【昼間部3年制・住民税非課税世帯<第Ⅰ区分>で3年間同一区分で支援を受けた場合】

自宅通学

3年間**支援総額**約 **331** 万円(概算)

授業料減免 59万円×3年間+入学金減免 16万円
 +給付奨学金約 46万円×3年間

注) 入学金20万円の場合

自宅外通学

3年間**支援総額**約 **466** 万円(概算)

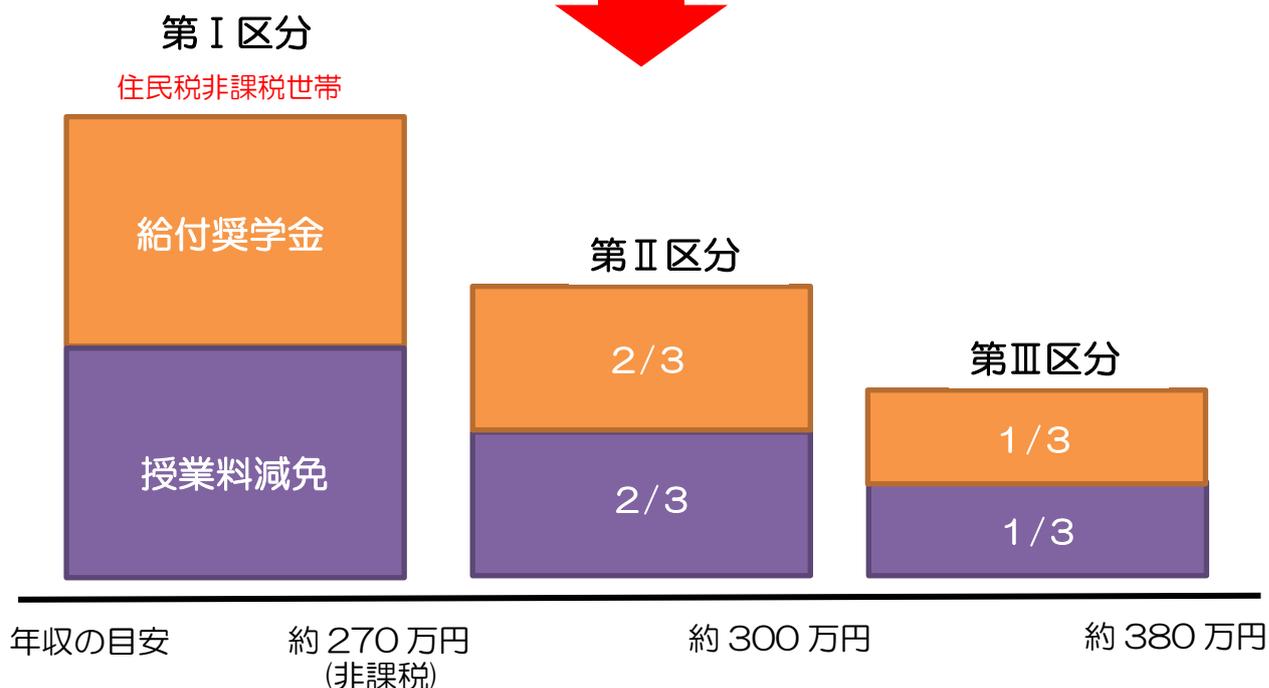
授業料減免 59万円×3年間+入学金減免 16万円
 +給付奨学金約 91万円×3年間

注) 入学金20万円の場合

※注 年2回の適格認定（継続審査）により、支援額・給付額の見直しがあります！！



住民税非課税世帯に**準ずる世帯**の学生は、住民税非課税世帯の学生の
＜第Ⅱ.Ⅲ区分＞ ＜第Ⅰ区分＞
2/3 又は 1/3 の支援額となります。(支援の金額は家族構成や世帯年収により異なります)



◎高校在学中に給付奨学金を申し込み、採用が決定した場合は、採用された区分での学費減免額を差し引いた金額で学費請求を行います。

◎大阪ハイテクに入学してから給付奨学金の申し込みをすると、奨学金採用後に学費の調整が行われますので、入学前には正規の学費をご納入頂き、その後、差し引いた額面を返還致します。

国の教育ローンについて

○特徴・概要○

日本政策金融公庫の融資制度です。

融資額は学生1人につき350万円まで（限度額の特例制度有）です。

時期によっては込み合うことがあるため、審査に時間を要する場合があります。

保護者の口座に入金されます。※学校への振り込みが必要です。

日本学生支援機構との併用が可能です。

最長15年の長期返済期間

固定金利1.70%、（2020年9月2日現在）

※詳細についてはこちらの国の教育
ローンのサイトにアクセスをお願い
いたします。 >>>

国の教育ローン

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

保護者様より直接、公庫へのお申込みが必要です。

入学前より利用可能です。

★その他、民間金融機関の教育ローン等もございます★